

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1～7組：森）

使用教科書： （ 実教出版 高校情報Ⅰ 新訂版 ）

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的
- 【思考力、判断力、表現力等】効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得すると
- 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行うことができる。	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	情報社会 【知識及び技能】 ・情報社会の特性や情報モラル、法規、情報セキュリティに関する基礎的な事項を理解し、情報機器や情報サービスを適切かつ安全に活用することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報社会における課題について、情報の信頼性や影響を踏まえて考察し、適切な行動の在り方を根拠を示して表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会の一員としての責任を自覚し、他者の権利や安全に配慮した行動をとろうとする態度を養う。	・生成AIの活用の危険性について学習する。 ・不正アクセスの手口やセキュリティ攻撃と、その対策方法を学習する。 ・個人情報に配慮したSNSの運用方法を理解する。 ・産業財産権・著作権とその関連法規を学習する。	【知識・技能】 ・情報モラル、個人情報保護、著作権、情報セキュリティなどに関する基本的な用語や内容を理解し、場面に応じた適切な情報機器・サービスの利用方法を説明したり実践したりしている。 【思考・判断・表現】 ・情報の信頼性や発信の影響を踏まえて課題を考察し、適切な判断や行動について、自分の考えを根拠とともに説明したり文章にまとめたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループで協同して問題解決に取り組むことが出来る。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	問題解決 【知識及び技能】 問題解決の過程を理解し、課題の発見、情報の収集・整理・分析、解決策の立案に必要な方法や技能を身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や条件に応じて課題を設定し、情報を基に解決策を考え、その過程や結果を分かりやすく表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向けて、見通しをもって粘り強く取り組み、よりよい方法を探ろうとする態度を養う。	・ICTを活用した問題解決の手法を学習する。 ・表計算ソフトの基本的な扱い方を学習する。 ・データを表計算ソフトで加工し、考察する。	【知識・技能】 ・データ分析の手法について理解している。 ・表計算ソフトの基本的な操作方法を理解する。 【思考・判断・表現】 表計算ソフトを用いてデータから関係性や仮説を見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら課題を発見し、関連するデータを収集・加工することによって解決を図ろうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学期	デジタル 【知識及び技能】 文字、音声、画像、動画などのデジタル化の仕組みやデータ量、圧縮の基礎を理解し、情報を適切に扱うための技能を身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の表現方法や形式の違いを比較し、目的に応じた適切な方法を選択して説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な情報機器やサービスと関連付けながら、デジタル技術の特徴を主体的に学ぼうとする態度を養う。	・コンピュータの基本構成や処理について学習する。 ・2進法などを用いた計算を学習する。 ・音のデータ量などの求め方を学習する。	【知識・技能】 ・コンピュータの基本構成や処理の流れについて簡単に説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・与えられた条件からデータ量を導出することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際のファイルのデータ量と計算で導出したデータ量を比較し、差異の原因を考えようとする。				15
	定期考査			○	○		1
	ネットワーク 【知識及び技能】 ネットワークの仕組みや役割、情報通信を支える基本的な技術、情報セキュリティの基礎を理解し、安全に活用するための知識と技能を身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ネットワークの利便性と危険性を踏まえて、適切な利用方法や必要な対策を考え、説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信を安全かつ適切に活用しようとする態度を養う。	・ノイマン型コンピュータの仕組みを学習する。 ・IPアドレスなどの通信プロトコルの役割や通信方法を学習する。 ・クライアントサーバシステムと、各サーバの役割について学習する。 ・公開鍵暗号方式の仕組みや利用方法を学習する。	【知識・技能】 ・ノイマン型コンピュータの基本的な構成、仕組みを説明できる。 ・クライアントサーバシステムと各サーバの役割を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・IPアドレスから宛先の情報や、設定すべきアドレスなどを導出することができる。 ・公開鍵暗号方式における暗号化やデジタル署名の仕組みを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・状況に応じたサーバの構成や、ネットワーク設定を考えようとしている。				15
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>プログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの考え方や、順次・分岐・反復などの基本構造を理解し、簡単なプログラムを作成・実行・修正できるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決したい課題に応じて処理の流れを論理的に考え、適切なプログラムとして表現し、改善できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤しながら課題解決に取り組み、よりよいプログラムを作成しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を通して、プログラミングのルールや、関数の記述方法を学習する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な構文やプログラミングで配慮するを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的のプログラムを作成することが出来る。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題を発展させたり、自ら新しい課題を見つけることができる。 	○	○	○	15
	定期考査			○	○		合計